CASIO®

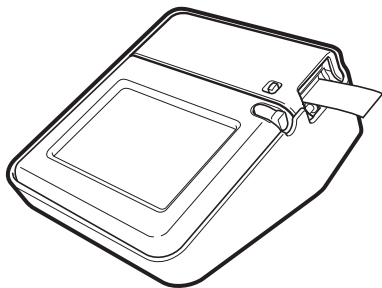
J

memoprí

メモプリンター

MEP-T10

取扱説明書

保証書付

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

MO1201-A

RJA525626-001V01

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

■本書は MEP-T10 について説明しています。
付属のソフトウェアについては、「CD-ROM 収録の PDF ファイル取扱説明書」をご参照ください。

■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらご連絡ください。

■本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。

■本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⊘ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

電池について

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. USB ケーブルをはずす。
2. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
3. 電池が入っている場合は電池をはずす。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

AC アダプターについて

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- 必ず指定品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用する

- 1 つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

⚠ 警告

AC アダプター／ USB ケーブルについて

電源コード／USB ケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- アダプター本体にコードを巻きつけない

- 電源コード／USB ケーブルやプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する

AC アダプター／ USB ケーブルについて

- 濡れた手で電源コード／USB ケーブルやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- AC アダプター／USB ケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプター／USB ケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプター／USB ケーブルを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、毛布などで覆わないようにしてください。火災の原因となります。

⚠ 警告

AC アダプターについて

外出時は、動物・ペットが本機に近づかないようにして、電源コード／AC アダプターはコンセントから抜いてください。電源コード／AC アダプターに噛みついた場合、ショート（短絡）により、火災や感電の原因となります。

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- アルカリ乾電池を充電しない

- 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. USB ケーブルをはずす。
2. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
3. 電池が入っている場合は電池をはずす。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

⚠ 警告

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。

内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

水、液体、異物はさける

水、スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. USB ケーブルをはずす。
2. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
3. 電池が入っている場合は電池をはずす。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。

特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 警告

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。
また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

AC アダプター／ USB ケーブルについて

AC アダプター／ USB ケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コード／ USB ケーブルを引っ張らない（必ず AC アダプター本体／ USB ケーブルのプラグを持って抜く）

- AC アダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USB ケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは AC アダプター／ USB ケーブルのプラグをコンセント／コネクターから抜く

⚠ 注意

AC アダプター／ USB ケーブルについて

- ご使用後は、AC アダプター／USB ケーブルのプラグをコンセント／コネクターから抜く
- 電源コードのプラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- 電源コード（特にプラグ部分）、AC アダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない
- AC アダプターは、AC プラグに容易に手が届くようにして、使用する機器の近くのコンセントに差し込んで使用してください。不具合が生じたときには、コンセントからすぐに取りはずせるようにしてください。
- AC アダプターは、湿気のないところで保管してください。
- AC アダプターの接続には、付属の電源コードをご使用ください。
- 付属の電源コードを、本機以外の電気製品には使用しないでください。故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない

- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

充電池について

- 充電池は、三洋電機株式会社製の単3形eneloop®（エネループ）または、パナソニック株式会社製の単3形充電式EVOLTA（エボルタ）をご使用ください。これ以外の充電池は使用しないでください。
- 充電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。
- 充電池を本機にセットしたままでは充電できません。
- eneloop®、充電式EVOLTA、および各充電池専用の充電器を使用する場合は、各製品に付属の取扱説明書や注意書きをお読みいただき、条件を守ってご使用ください。

⚠ 注意

コネクター部への接続

コネクター部には、指定されたもの以外は接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる

本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

電池のセットおよび電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「電池をセットするとき」や「電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

テープのセットおよびテープ交換時の注意

カッター部には鋭利な部分があります。カッター部には触らないでください。指を切るおそれがあります。

高温注意

プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

カッター注意

テープ出口部分のカッターには指を差し込まないでください。カッターに触れると指を切り、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
  皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池が消耗しています」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲 (10℃～35℃) の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法 (95 ページ) をご覧になり、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

　この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

もくじ

準備編 ……………16

手書きメモ編 …………34

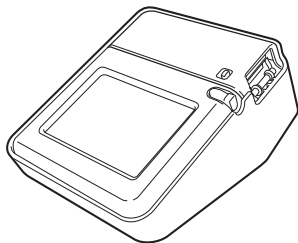
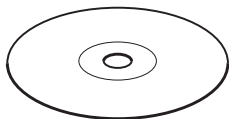
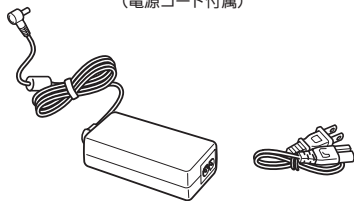
文字ラベル編 …………44

●本書中のマークについて

重要 必ず読んで守っていただきたい重要な情報を記載しています。

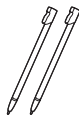
準備編

付属品を確認しましょう

本体

アプリケーション CD-ROM
MEMOPRI SOFTWARE

AC アダプター　AD-A12200L
（電源コード付属）

USB ケーブル

テープ（18mm 幅）

タッチペン（2本）

- 2 本のうち、1 本は本体に装着されています。

本書（保証書付）
インストールガイド

- 別売品については「別売品一覧」（107 ページ）をご覧ください。

本機をご使用になる前に

本機について

本機は、手書きメモ機能に加えて、次の２つの方法でラベルの印刷ができます。

❶ 本機だけでラベルを印刷する。

- 持ち運びが自由で手軽に印刷することができます。
- パソコンとの接続やソフトのインストールは必要ありません。

❷ パソコンと本機をつないでラベルを印刷する。

- パソコン画面で印刷イメージを見ながらデータの編集ができます。編集したデータを本機で印刷します。
- ソフトとプリンタードライバーをパソコンにインストールした後、パソコンと本機を接続することが必要です。

本機をご使用になる前の準備

本機をご使用になる前には以下の準備が必要です。

ACアダプターの接続
『電源について（ACアダプターで使う）』（23ページ）をご覧ください。

日時の設定
『はじめて使うときは日時の設定を！』（25ページ）をご覧ください。

テープの取り付け
『テープを取り付ける／取りはずす』（27ページ）をご覧ください。

取扱説明書の使いかた

本機には取扱説明書として以下の 4 つが用意されています。

■ 印刷物として付属

① 「MEP-T10 取扱説明書」（本書）
② 「インストールガイド」

■ 付属の CD-ROM に PDF ファイルで収録

- 取扱説明書はパソコンにインストールして読むことができます。

③ 「MEP-PC10 取扱説明書」
④ 「プリンタードライバー取扱説明書」

取扱説明書は用途に応じて、以下のようにご使用ください。

- 本機だけで手書きメモを使ったり、ラベルを印刷したい。
  →取扱説明書の①をご覧ください。
- パソコンとつないで、ラベルを印刷したい。
  →取扱説明書の①、②、③、④をご覧ください。

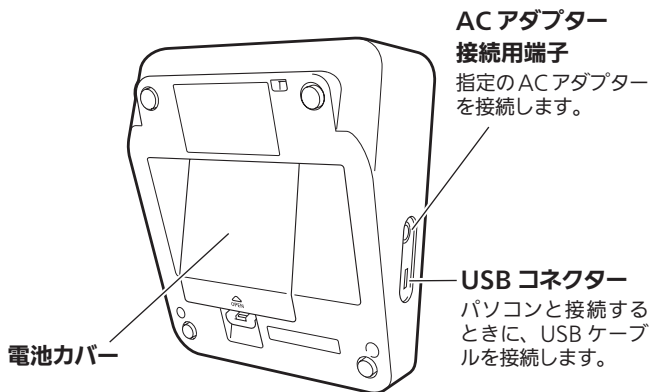
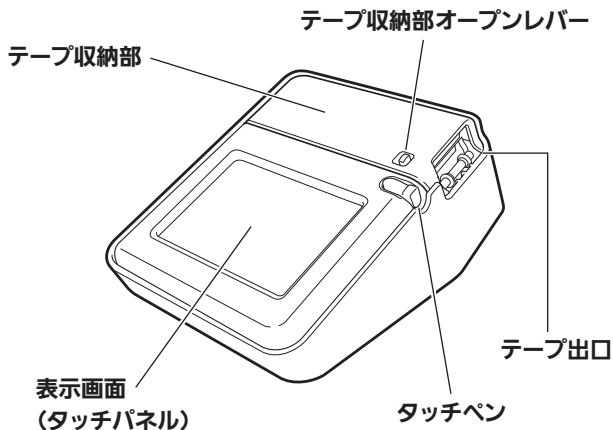
これより先は、本機だけでお使いになる場合の説明をさせていただきます。パソコンと本機をつないでお使いになる方は、②「インストールガイド」をご覧ください。

各部の名前とはたらき

ACアダプター接続用端子
指定のACアダプターを接続します。

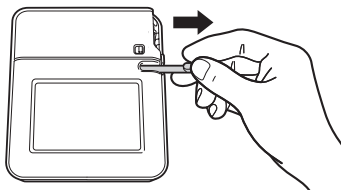
USBコネクター
パソコンと接続するときに、USBケーブルを接続します。

電池カバー

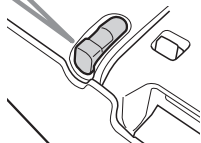
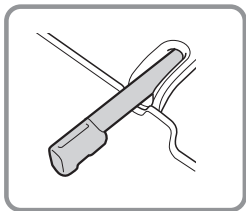
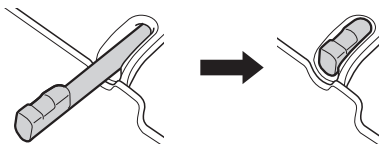
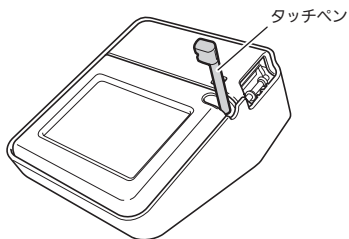
OPEN

タッチペンを取り出す・しまう

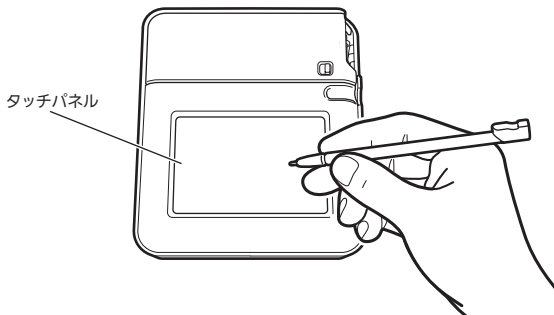
本機では、タッチペンを使ってタッチパネルに手書きメモを書いたり、タッチして操作を進めたりすることができます。

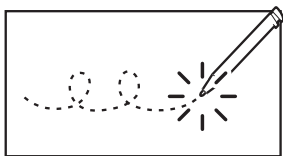
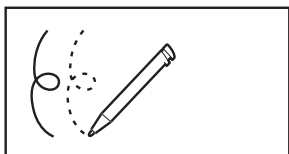
■ タッチペンを取り出す

タッチペンは本体に収納されています。
タッチペンの先端に指をかけ、まっすぐ引き出します。

■ タッチペンをしまう

タッチペンの先端をまっすぐ押し込むようにしてしまいます。

落ちないように、しっかりと奥まで入れてください。

- タッチペンをなくさないように注意してください。
- タッチペンは、以下のように本体に立てておくこともできます。

タッチペン使用上のご注意

- タッチパネルにタッチするときは、力を入れる必要はありません。
- タッチパネルの表面を強く押したり、力を込めて入力したりしないでください。タッチパネルにひびが入ったり、割れたりすることがあります。

- タッチした文字やアイコンが正しく認識されない（反応しない）ときや、タッチペンでタッチする位置と表示される手書きで書いた線や文字が微妙にずれているときは、タッチパネル位置調整を行ってください（87ページ）。

例）

反応しない

手書きで入力した文字がずれる

タッチパネルに市販の保護フィルムを貼り付けると正しく動作しない場合があります。その場合は、保護フィルムをはがして正常に動作するか確認してください。

電源について（AC アダプターで使う）

本機を使うときは、電源として指定の AC アダプターまたは市販のアルカリ乾電池、推奨の充電式ニッケル水素電池を使います。

ご使用前に、「安全上のご注意」（2 ～ 12 ページ）を必ずご覧ください。

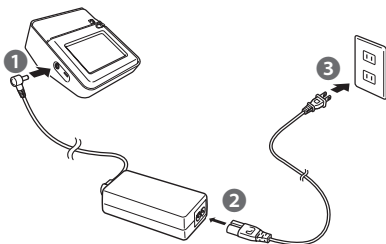
- 電池での使用方法については、92 ページをご覧ください。

■ 取り付ける

- 指定の AC アダプター以外は使用しないでください。
- パソコンと接続する場合は、ソフトをインストールした後、USB ケーブルと AC アダプターを接続してください。詳しくは、別紙「インストールガイド」の「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」「パソコンと接続する」をご覧ください。

1 ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続用端子に差し込みます。

2 ACアダプターに電源コードを接続します。

3 電源コードのプラグをご家庭のコンセント＜AC100V＞に差し込みます。

■ 取りはずす

- 印刷中に AC アダプターを取りはずさないでください。故障の原因となります。
- AC アダプターや電池を取りはずすときは、本機の画面が消えていることを確認してください。画面が表示中の場合は、オートパワーオフ（26 ページ）を待つか、お急ぎの場合はメインメニュー画面（32 ページ）を表示させた状態で取りはずしてください。
- USB ケーブルを接続している場合は、AC アダプターを取りはずす前にパソコンと本機から USB ケーブルを抜き取ってください。
- 本機に登録したデータ（手書きメモや文章など）は、ノートやパソコンなどに控えを取っておいてください。

❶ コンセントからACアダプターのプラグを抜きます。

❷ 本機のACアダプター接続用端子からACアダプターのプラグを抜きます。

電源コードの両端部分は､無理に曲げたり､ねじったり､引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。

はじめて使うときは日時の設定を！

ご購入後、本機をはじめて使うときは、日時の設定をしてください。

❶ タッチペンでタッチパネルをタッチします。

電源が入って、日時の設定画面が表示されます。

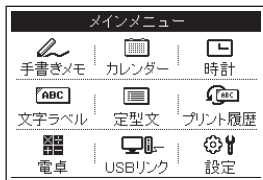
❷ 画面右の数字アイコンをタッチして、日付や時刻を設定します。設定したい項目をタッチして、反転を移動させて設定していきます。

- 数字は⊕⊖でも設定できます。⊕をタッチすると数字が増え、⊖をタッチすると数字が減ります。

❸ 設定が終了したら【決定】をタッチします。

メインメニュー画面が表示されます。

日付、時刻の設定は、後から変更することもできます（80 ページ）。

準備編

電源を入れる・切る

本機の電源の入れかた・切りかたについて説明します。

■ 電源を入れるには…

タッチパネルをタッチすると、「ピッ」という音がして、電源が入ります。

- 前回使っていた画面が表示されます。

■ 電源を切るには…

何も操作しないで、一定時間※経過すると、電源は自動的に切れます（オートパワーオフ）。

※ AC アダプター使用時は約 6 分、電池使用時は約 30 秒経過すると電源が切れます。

- 「ピッ」というタッチ音を消したいときは、86 ページをご覧ください。
- 画面の明るさを調整するときは、87 ページをご覧ください。

バックライト機能について

本機では、電源を入れると、バックライトが点灯します。バックライトは何も操作しないで一定時間経過すると、自動的に消灯します。

- AC アダプター使用時：約 30 秒で消灯
- 電池使用時：約 5 秒で消灯

バックライト消灯後に、タッチパネルをタッチすると、再度、バックライトが点灯します。

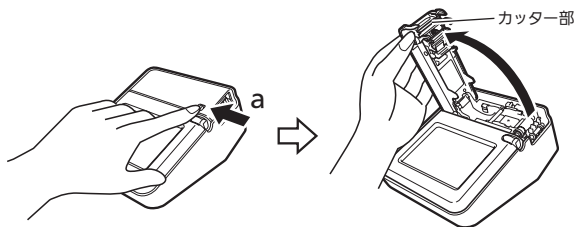
- 「プリント中」や「フィード中」は、バックライトが消灯します。

テープを取り付ける／取りはずす

ラベルを印刷するときには、テープが必要です。

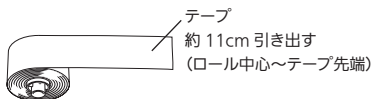
付属品および別売のテープ（107 ページ）をお使いください。

■ テープを取り付ける

❶ 収納部オープンレバーを矢印aの方向にスライドさせて、テープ収納部のカバーを開けます。このとき、カッター部に指をかけないように注意してください。

「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

❷ テープの状態を確認します。

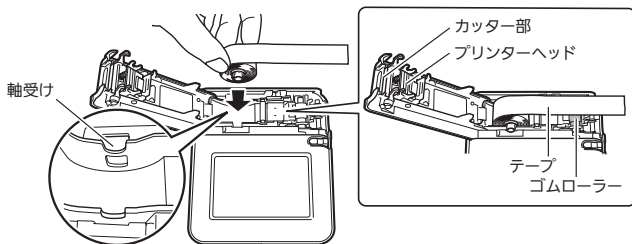
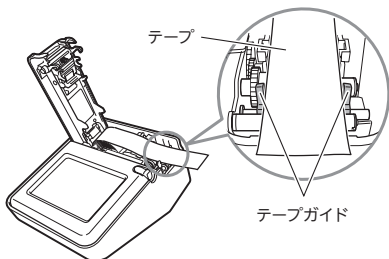
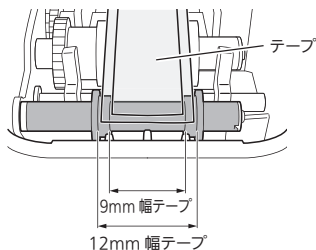
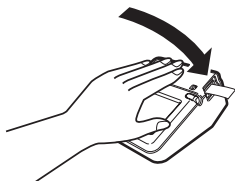
- テープの先が曲がっていない（曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする）

重要

- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。故障の原因になります。
- テープの巻き始め部分への印刷は、安定しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

❸ テープをセットします。

テープはゴムローラーの上を通るように取り付けます（下図）。テープは軸受けにきちんと収まるよう取り付けてください。

- テープを取り付ける際、カッター部には触らないように注意してください。指を切るおそれがあります。
- 印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、プリンターヘッドに触れないようにテープを取り付けてください。

重要 正しくセットしないと、故障の原因となります。

- 18mm 幅のテープは、下図の「テープガイド」の間にテープが通るようにセットしてください。

- 12mm 幅、9mm 幅のテープは、テープガイドの内側の下図の間を通るようにセットしてください。

❹ テープ収納部のカバーを閉めます。

- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

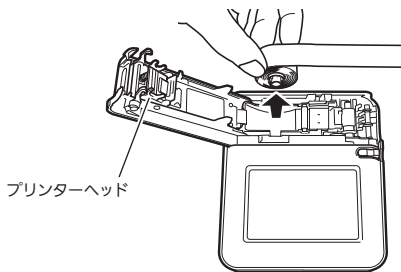
テープについてのご注意

- このテープは、感熱紙を使用しているため、次の場所ではテープが変色する可能性がありますので使用を避けてください。
  ・窓際など直射日光を受ける場所や屋外
  ・高温や雨、水のかかる場所
- 印刷面を爪や硬い金属などで強くこすらないでください。
- このテープに使用している粘着剤は再剥離タイプです。貼り付ける場所や物によってはテープが剥がれたり、ノリが残ったりする場合があります。
- このテープを長期間の表示に使用する場合は、変色する可能性がありますのでご注意ください。
- 使用しないテープは、ビニール袋および箱に入れて保管してください。
- 高温、湿気、直射日光は避けて保管してください。
- 炎天下の自動車内に放置しないでください。
- 変色のおそれがありますので、開封後はなるべく早くご使用ください。
- 長期間使用しない場合は、本機からテープを取りはずしてください。

■ テープを取りはずす

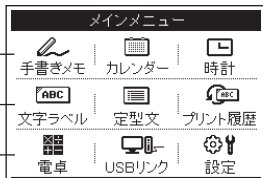
❶ 27ページ手順❶の操作で、テープ収納部のカバーを開けます。

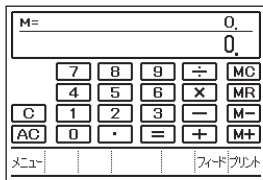
❷ テープの上下に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

- テープを取り出す際、カッター部には触らないように注意してください。指を切るおそれがあります。
- 印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、プリンターヘッドに触れないようにテープを取り出してください。

操作の進めかた

本機の基本的な操作について説明します。

本機では、メインメニュー画面で使いたい機能をタッチして操作を進めます。
メインメニュー画面では、9種類の機能のボタンが表示されています。これをアイコンと呼びます。

メインメニュー
手書きメモ　カレンダー　時計
文字ラベル　定型文　プリント履歴
電卓　USBリンク　設定
アイコン

1 メインメニュー画面で、使いたい機能のアイコンをタッチします。ここでは、【電卓】をタッチします。

電卓機能が表示されます。

2 メインメニュー画面に戻るときは、画面左下の【メニュー】をタッチします。

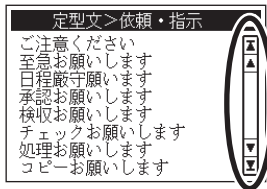
機能によっては、【メニュー】が表示されていない画面もあります。
この場合は、画面右下の▲をタッチすると【メニュー】が表示されます。

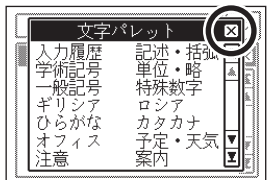
10:58
2012. 6.30 Sa

■ 画面の動かしかた

画面によっては、▲▲▼▼のアイコンが表示されます。タッチすると、かくれている部分を見ることができます。これをスクロールといいます。

▲▼をタッチすると上下に1行スクロールします。▲をタッチすると先頭の項目が、▼をタッチすると最後の項目が表示されます。

定型文>依頼・指示
ご注意ください
至急お願いします
日程厳守願います
承認お願いします
検収お願いします
チェックお願いします
処理お願いします
コピーお願いします

■ 画面の閉じかた

画面によっては、右上に×のアイコンが表示されます。×をタッチすると、画面が閉じて、元の画面に戻ります。

手書きメモ編

手書きメモの使いかた

手書きでスケジュールなどをメモすることができます。また、書いたメモを手軽にラベルに印刷できます。

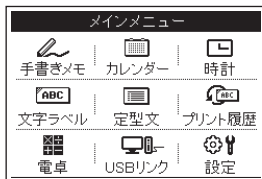
手書きメモを書く

1 タッチパネルをタッチして、電源を入れます。

前回使っていた画面が表示されます。ここでは、メインメニュー画面の例を示します。

- メインメニュー画面以外の場合は、32 ページを参照して、メインメニュー画面を表示させてください。

メインメニュー

手書きメモ	カレンダー	時計
文字ラベル	定型文	プリント履歴
電卓	USBリンク	設定

2 【手書きメモ】をタッチします。

初めて使う場合は、手書きメモの作成画面が表示されます。

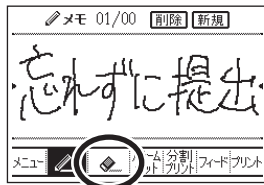
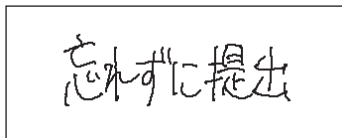
- すでに保存された手書きメモがある場合は、保存された手書きメモが表示されます。その場合は【新規】をタッチすると、手書きメモの作成画面が表示されます。

3 画面下の をタッチして、ペンの太さを選びます。

をタッチするごとに、ペンの太さが（細）→（中）→（太）→（細）…と切り替わります。ここでは、（細）のままとします。

❹ タッチペンで画面にメモを書きます。

- 手書きを消したいときは、をタッチしてから、手書きした線をなぞって消してください。
- をタッチするごとに、消しゴムの太さが（細）→（中）→（太）→（細）…と切り替わります。
- 手書きを全部消したいときは、【削除】をタッチします。削除の確認メッセージが表示されたら、【削除】をタッチします。

- 書いた手書きメモは、以下のようにラベルに印刷することができます。印刷の操作は、36 ページ「印刷する」～ 38 ページ「印刷時の注意事項」をご覧ください。

[印刷例]
（18mmテープ）

- 12mm/9mm 幅のテープに印刷するときは、印字幅に合わせて内容が縮小されるため、線の太さが不均等になったり、混み入った線が重なることがあります。

手書きメモの保存について

本機では、書いた手書きメモは、以下の操作をすると自動的に保存されます。

- 【メニュー】【プリント】【フィード】【分割プリント】【新規】【◀◀】【▶▶】【アラームセット】のいずれかをタッチしたとき
- オートパワーオフで電源が切れたとき（26 ページ）
- アラームが鳴ったとき（42 ページ）

印刷する

ラベルには簡単に印刷できます。

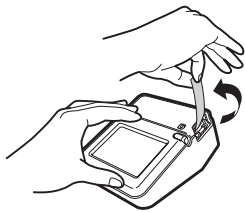
印刷する前に、「テープがセットされていること」、「テープ出口（19 ページ）が物でふさがっていないこと」を確認してください。

❶ 【プリント】をタッチします。

印刷が始まります。

- 印刷を途中でやめるときは、表示画面（タッチパネル）をタッチします。
- 印刷時の注意事項（38 ページ）を必ずお読みください。

■ テープをカットする

❶ テープは図のように、指でつまんで、本機のテープカット部分に押し当ててカットします。

重要

印刷がすべて終わったことを確かめてから、テープをカットしてください。印刷中にテープをカットすると、テープがつまったり、本機が壊れたりすることがあります。

■ ラベルを貼る

❶ 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。

❷ ラベルを貼ります。

- 一度貼ったラベルを剥がすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。

- 直射日光や雨があたるもの
- 人や動物のからだ
- 他人の家のへいや電柱など
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは

- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどがついているところ
- 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP 材など）

■ テープを空送りする

印刷を途中で取り消したときなどに、途中まで印刷されたテープを白紙で送ることができます（フィード）。

❶ 【フィード】をタッチします。

テープが約 12mm 送られます。

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。

- 印刷中は、絶対に AC アダプターや電池を取りはずさないでください。
- 印刷中は、本体のテープ収納部のカバーを絶対に開けないでください。
- 印刷中に出てきたテープは、印刷が終了するまで触らないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、表示画面（タッチパネル）をタッチして印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、テープがたまらないようにしてください。テープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。

手書きメモの追加・修正・削除

手書きメモの追加・修正・削除の操作について説明します。

❶ メインメニュー画面で【手書きメモ】をタッチします。

保存されている手書きメモが表示されます。

【◀◀】【▶▶】をタッチすると前後のメモが表示されます

- 手書きメモの追加
  - ①【新規】をタッチします。
  - ② 34 ページ手順❸〜❹と同様な操作で手書きメモを書きます。
  - ③【新規】をタッチすると、書いた手書きメモが保存されて、新しい手書きメモ作成画面になります。

- 手書きメモの修正
  - ①保存されている手書きメモをそのまま修正します。
  - ②【新規】をタッチすると、修正した手書きメモが上書き保存されて、新しい手書きメモ作成画面になります。

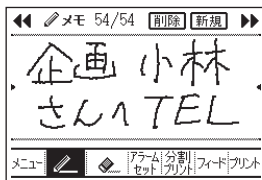
- 手書きメモの削除
  - ①【削除】をタッチします。
    削除の確認メッセージが表示されます。
  - ②【削除】をタッチします。

アラームを使う

手書きメモにアラームを設定することができます。設定した日時にアラームが鳴って、手書きメモが表示されます。

■ アラームを設定する

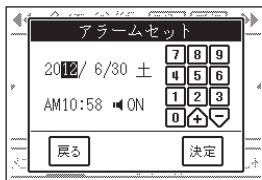
❶ メインメニュー画面で【手書きメモ】をタッチします。

保存されている手書きメモが表示されます。

❷ 【◀◀】【▶▶】をタッチして、アラームを設定したい手書きメモを表示させます。

ここではこのままとします。

- 手書きメモが1件の場合は、【◀◀】【▶▶】はタッチできません。

❸ 【アラームセット】をタッチします。

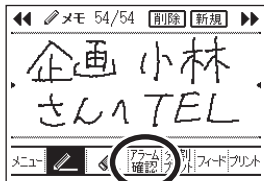
アラーム設定画面が表示されます。

❹ 数字アイコンをタッチして、日付や時刻を設定します。

設定したい項目をタッチして、反転を移動させて設定していきます。

- 数字は⊕⊖でも設定できます。
- 「ON」をタッチするごとに、アラーム音のON/OFFが切り替わります。
- 12時間制表示のときは、「AM（PM）」をタッチするごとに、AM/PMが切り替わります。

❺ 日付や時刻の設定が終了したら【決定】をタッチします。

アラームが設定されて、手書きメモの画面に戻ります。

- 【アラームセット】が【アラーム確認】に変わります。
- 1 件の手書きメモに、複数の日時のアラームを設定することはできません。
- 同一の日時に、重複してアラームを設定することはできません。
- 過去の日時に、アラームを設定することはできません。

■ アラームの変更・解除

❶「アラームを設定する」の手順❺の画面で【アラーム確認】をタッチします。

アラームの確認画面が表示されます。

- アラームの変更
  ①【日時訂正】をタッチします。
  ②「アラームを設定する」の手順❹〜❺と同様な操作でアラームを変更します。
  ③【決定】をタッチします。

- アラームの解除
  ①【アラーム解除】をタッチします。
  解除の確認メッセージが表示されます。
  ②【解除】をタッチします。

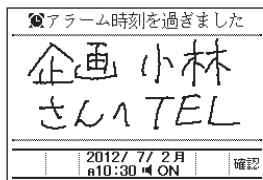
- アラームの変更・解除をしないときは、【戻る】をタッチすると前の画面に戻ります。

手書きメモ編

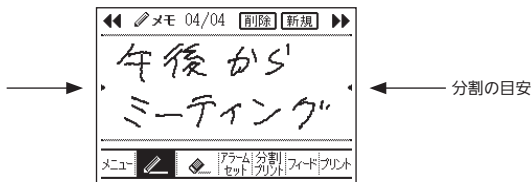
■ アラームのお知らせ

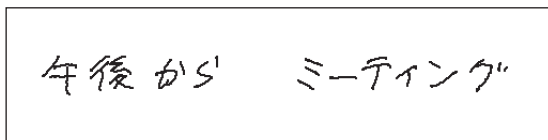
❶ 設定したアラーム日時になると、アラームが鳴って手書きメモが表示されます。

❷ をタッチすると、アラームが止まって、下の画面になります。

- タッチしないで放置したときは、20 秒でアラームが止まります。

❸ 【確認】をタッチすると、アラームが鳴る前の画面に戻ります。

分割プリント

手書きメモを上下で分割してラベルに印刷することができます（分割プリント）。

上のような手書きメモを、画面の上下で分割して、以下のように印刷することができます。

[印刷例] （18mm テープの場合）

1 **メインメニューで【手書きメモ】をタッチします。**

保存されている手書きメモが表示されます。

2 **【新規】をタッチします。**

新しい手書きメモの作成画面が表示されます。

3 **上下の分割の目安を参考に手書きメモを書きます。**

4 **【分割プリント】をタッチします。**

書いた手書きメモが自動的に保存された後、印刷が開始されます。

- 印刷の操作は、36 ページ「印刷する」～ 38 ページ「印刷時の注意事項」をご覧ください。
- 12mm/9mm 幅のテープに印刷するときは、印字幅に合わせて内容が縮小されるため、線の太さが不均等になったり、混み入った線が重なることがあります。

文字ラベル編

文字を入力してラベルを作る（文字ラベル）

画面に表示されるキーボード（ソフトキーボード）から文字を入力して、ラベルに印刷することができます（文字ラベル）。

[印刷例]
（18mmテープ）

営業レポート

❶ メインメニュー画面（32ページ）で【文字ラベル】をタッチします。

文字ラベルの入力画面が表示されます。

- 文字ラベルで入力できる文字数は、99 文字です。

ソフトキーボード

❷ 画面下のソフトキーボードをタッチして文字を入力します。

ここでは「営業レポート」と入力します。

- 文字の入力方法については、48 ページをご覧ください。
- 文字ラベルを終了したいときは【メニュー】をタッチしてください。

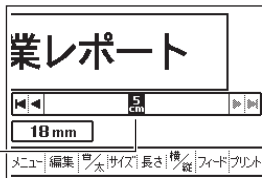
■ 印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認します（印刷プレビュー）。

❶【決定】をタッチします。

印刷結果のイメージが画面に表示されます。

❷ ▶ ▶▶をタッチして、画面をスクロールします。

- 逆方向にスクロールするときは、◀ ◀◀をタッチします。

- テープ長さの表示は目安とお考えください。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際の長さが、目安の表示より短くなる場合があります。
- 印刷できる長さは約 30cm までです。

印刷の設定をする

印刷結果の確認画面で、印刷の設定をすることができます。

❶ 設定したい項目のアイコンをタッチして、表示された画面から内容を選んで【決定】をタッチします。

- 設定できる項目のアイコンと内容については、下記の「印刷設定項目」をご覧ください。
- ここでは、購入後の設定のままとします。

印刷設定項目

アイコン	設定できる内容
【普 / 太】	文字を太字にする設定です。「普通」/「太字」から選びます。
【サイズ】	文字サイズを「特大」/「大」/「中」/「小」から選択します。
【長さ】	テープ長さの設定です。「短くしない」/「すこし短く」/「かなり短く」から選択します。
【横 / 縦】	印刷方向を「横書き」/「縦書き」から選択します。
【18mm】	テープ幅を「18mm 幅」/「12mm 幅」/「9mm 幅」から選択します。選択した内容がアイコンに表示されます。

・【サイズ】は、テープの幅によって設定できる内容が異なります。

サイズ ＼ テープ幅	18mm	12mm	9mm
特大（約 12mm）	○※	×	×
大（約 9mm）	○※	○※	×
中（約 6mm）	○※	○※	○※
小（約 3mm）	○	○	○

※入力が1行のときのみ設定可能

- サイズの設定をしない場合は、文字サイズはテープの幅と行数に合わせて、自動的に変わります（ジャストフィット印刷）。テープの幅と最大行数については、49 ページをご覧ください。

・【長さ】の設定の詳細は以下の通りです。

設定	詳細内容
短くしない	何もしない（100%）
すこし短く	余白を除く印字部分を 75%圧縮
かなり短く	余白を除く印字部分を 50%圧縮

印刷する

印刷は、手書きメモの印刷操作と同様です。

36 ページ「印刷する」～ 38 ページ「印刷時の注意事項」をご覧ください。

文字の入力について

ローマ字入力、または 50 音入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます（51 ページ）。

■「営業」を入力します。
①入力モードをひらがなにします（50 ページ）。
②【E】【I】【G】【Y】【O】【U】とタッチします。
③【変換】をタッチして、変換候補から【営業】をタッチします。

■「レポート」を入力します。
①入力モードをカタカナにします（50 ページ）。
②【R】【E】【P】【O】【ー】【T】【O】とタッチします。

- 誤った文字を入力したときは、DEL（69 ページ）や BS（70 ページ）をタッチして、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- 文字入力方法について、詳しくは「文字の入力方法」（48 ページ）をご覧ください。

文字の入力方法

画面に表示されるキーボード（ソフトキーボード）から文字を入力する方法を説明します。

ソフトキーボードを表示する

1 メインメニュー画面で【文字ラベル】をタッチします。

画面下にソフトキーボードが表示されます。

カーソルのはたらきと動かしかた

画面上で点滅している＿をカーソルといいます。

カーソルとは、文字を入れる場所を示した目印のことです。

1 ソフトキーボードの文字アイコンをタッチすると、カーソルの位置に文字が入ります。

▲▼◀▶	上下左右に移動
シフト◀ / シフト▶	行の先頭 / 最後に移動
シフト▲ / シフト▼	文章の先頭 / 最後に移動

■ 改行するには

❶ ↵ をタッチすると、カーソルの位置に「改行マーク」が挿入されて、カーソルは次の行の先頭に移動します。

- 入力できる行数は、セットしてあるテープ幅によって異なります。

テープの幅	最大行数
9/12mm	2行
18mm	3行

文字ラベル編

スクロールとは

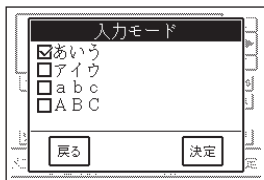
- 画面に隠れている文字を見るためには、◀ ▶ をタッチして、隠れている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。
- （◀ ▶ をタッチした方向に文字がないときは、カーソルは動きません。）

入力モードを切り替える

ひらがな / カタカナ / アルファベットを入力するときの切り替え方法を説明します。

❶ メインメニュー画面で【文字ラベル】をタッチします。

❷ 入力モード切り替えアイコン（ここでは【あいう】）をタッチします。

入力モードの選択画面が表示されます。

❸ 入力モードをタッチして選びます。

【あいう】: ひらがな
【アイウ】: カタカナ
【abc】: アルファベット小文字
【ABC】: アルファベット大文字
ここでは【アイウ】をタッチします。
入力モードが切り替わって、入力モード切り替えアイコンの表示が【アイウ】になります。

ローマ字入力と 50 音入力を切り替える

文字を入力する方法として、ローマ字入力と 50 音入力があります。

- ローマ字入力とは…
  アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。
- 50 音入力とは…
  直接ひらがななどを入力する方法です。

購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。
ローマ字入力と 50 音入力の切り替えは以下の操作で行います。

❶ 入力モードを【あいう】または【アイウ】にします（50ページ）。

❷ シフト【ローマ字】または シフト【50音】とタッチします。

ローマ字と 50 音の選択画面が表示されます。

❸ 【ローマ字】または【50音】をタッチします。

ひらがな・カタカナの入力

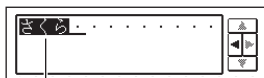
ここではローマ字入力で説明します。

■ ひらがなの入力

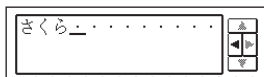
[例]　さくら

❶ 入力モードを【あいう】にします（50ページ）。

❷ 【S】【A】【K】【U】【R】【A】とタッチします。

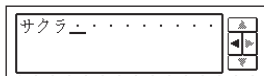
• 50 音入力のときは、【さ】【く】【ら】とタッチします。

❸ 【無変換】をタッチします。

「さくら」が確定します。

・「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

■ カタカナの入力

❶ 入力モードを【アイウ】にします（50ページ）。

❷ 【S】【A】【K】【U】【R】【A】とタッチします。

• 50 音入力のときは、【さ】【く】【ら】とタッチします。

カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する（カタカナ変換）

[例] サクラ

①ひらがなで「さくら」と入力します。

② さくら となっているときに、【カタカナ変換】をタッチします。
さくら が「サクラ」に確定されます。

■ いろいろな文字の入力方法

例		ローマ字入力	50 音入力
促音	いった	【I】【T】【T】【A】	【い】シフト【っ】【た】＊
拗音	きょう	【K】【Y】【O】【U】	【き】シフト【ょ】【う】＊
濁音	ぼく	【B】【O】【K】【U】	【ほ】゛゜【く】
半濁音	ぱぱ	【P】【A】【P】【A】	【は】゛゜ ゛゜ 【は】゛゜ ゛゜
句点	。	【。】	【。】
読点	、	【、】	【、】
長音	ー	【ー】	【ー】
中点	・	シフト【・】	シフト【・】
を		【W】【O】	【を】
ん		【N】【N】	【ん】
ヴ		入力モードが【アイウ】 のときに【V】【U】	入力モードが【アイウ】 のときに【ウ】゛゜
ヵ		【X】【K】【A】または 【K】シフト【A】	入力モードが【アイウ】 のときにシフト【ヵ】
ヶ		【X】【K】【E】または 【K】シフト【E】	入力モードが【アイウ】 のときにシフト【ヶ】
空白		【空白】	【空白】

＊シフトをタッチし、文字アイコンをタッチすると 小文字（促音・拗音）になりますが、「っゃゅょぁぃぅ」など促音・拗音にすることができる文字に限ります。

- ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」（103 ページ）をご覧ください。
- ひらがなとカタカナは、【文字パレット】をタッチして「ひらがな」や「カタカナ」の分類から選択して入力することもできます。
- 「空白」は、半角で入力することはできません。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します。（例：「花」→「はな」）。

ひらがなから漢字に変えることを変換といいます。使いたい漢字が表示されたら、タッチして、他の文字に変わらないように確定します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- 文章を入力してから変換する
- 漢字1文字分ずつ変換する（当て字や難しい固有名詞などの変換）

■ 文章を入力してから変換する

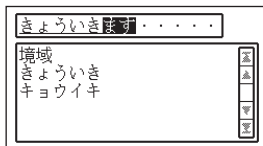
文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。
まとめて変換できる文字数は、32 文字までです。

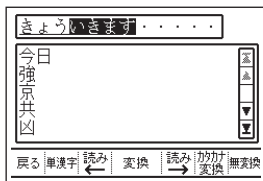
［例］　今日行きます

❶「きょういきます」をひらがなで入力します。

❷【変換】をタッチします。

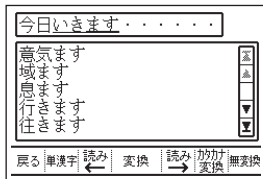
「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「きょういき」の変換候補の一覧が表示されます。

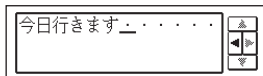
- 前回使った漢字が最初に表示されます（学習機能）。

❸【読み←】を２回タッチします。

「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。
「きょう」の変換候補の一覧が表示されます。

❹ 変換候補の一覧から【今日】をタッチします。

「今日」が確定されます。
「いき」と「ます」という２つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」の変換候補の一覧が表示されます。

❺【読み→】を２回タッチします。

「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。
「いきます」の変換候補の一覧が表示されます。

❻ 変換候補の一覧から【行きます】をタッチします。

「行きます」が確定されます。

カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。

ひらがなを漢字に変えるときに付く下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに【戻る】をタッチすると、「よみ」の状態に戻ります。

［例］　【変換】　【戻る】

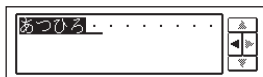
きょう　➡　きょう　➡　きょう

「よみ」を入れて【変換】をタッチしても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう（このページ）。

■ 漢字1文字ずつ変換する（単漢字変換）

当て字や難しい固有名詞などを変換するときは、1文字ずつ目的の漢字に変換します。

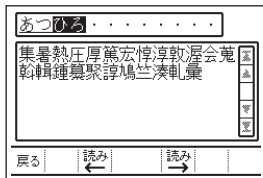
[例]　敦廣　（あつひろ）

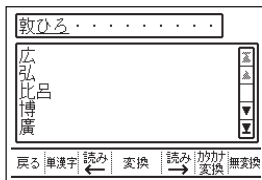
❶「あつひろ」をひらがなで入力します。

❷ 【変換】をタッチします。

変換候補の一覧には、「敦廣」は表示されません。

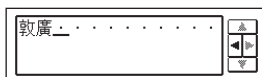
❸【単漢字】をタッチします。

単漢字候補の一覧に、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。

- 【読み←】をタッチすると、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。

❹【敦】をタッチします。

「敦」が確定されて、「ひろ」に当てはまる漢字の一覧が表示されます。

❺【廣】をタッチします。

「廣」が確定されます。

文字ラベル編

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- 「週（しゅう）」を「しゆう」と入力している
- 「図（ず）」を「づ」と入力している
- 「通り（とおり）」を「とうり」と入力している
- 「社食（しゃしょく）」「道交法（どうこうほう）」など、略語の読みを入力している
- 下線がついているときに【戻る】をタッチすると、「よみ」の状態に戻ります。

次の文字の入力には、特に注意してください。

- 「ぁ」「ぃ」「ぅ」「ぇ」「ぉ」「ゃ」「ゅ」「ょ」の拗音
- 「っ」の促音
- 「ず」と「づ」
- 「じ」と「ぢ」
- 「お」と「う」

アルファベット・数字・記号の入力

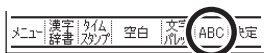
アルファベット・数字・記号の入れかたを説明します。

■ アルファベットの入力

［例］　ＡＫＩ

❶ 入力モードを【abc】または【ABC】にします（50ページ）。

【abc】：小文字を入力するとき
【ABC】：大文字を入力するとき

メニュー　漢字辞書　タイムスタンプ　空白　文字パレット　ABC　決定

❷ 【A】【K】【I】とタッチします。

- アルファベットは、キーをタッチしたと同時に、その文字に確定されます。

- 大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには
入力モードが【ABC】のとき……シフトをタッチし、文字アイコンをタッチすると、その文字だけ小文字になります。
［例］　TAKESHI'ｓ
入力モードが【abc】のとき……シフトをタッチし、文字アイコンをタッチすると、その文字だけ大文字になります。
［例］　English

■ 数字の入力

［例］　1 2 3

❶ 入力モードを【abc】または【ABC】にします（50ページ）。

ローマ字入力のときは、この操作は不要です。

❷ 【1】【2】【3】とタッチします。

■ 記号（ソフトキーボード）の入力

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - ^ ¥
Q W E R T Y U I O P @ [
A S D F G H J K L ; :]
シフト Z X C V B N M , . / _

例 ①【：】をタッチすると　➡　「：」が入ります。

! " # $ % & ' ( ) = ~ ?
q w e r t y u i o p ` {
a s d f g h j k l + * }
シフト z x c v b n m < > ・ _

例 ② シフト ＊ をタッチすると　➡　「＊」が入ります。

- 50 音入力のときは、入力モードを【abc】または【ABC】にしてから入力します（50 ページ）。

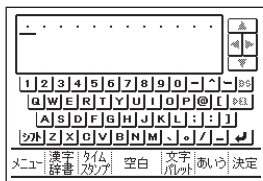
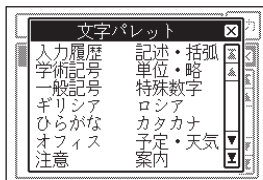
その他の記号などの入力（文字パレット）

ソフトキーボードにない記号や絵文字などの入力は、「文字パレット」を使います。

文字パレットの記号や絵文字は 27 のグループに分かれています。105 ページの「記号・絵文字／定型文／内蔵漢字について」を参照し、必要に応じて、使いたい記号や絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。

［例］☎（グループ＝単位・略）

❶ メインメニュー画面で【文字ラベル】をタッチします。

画面下にソフトキーボードが表示されます。

❷【文字パレット】をタッチします。

グループの選択画面が表示されます。

❸ グループをタッチします。

ここでは【単位・略】をタッチします。「単位・略」のグループの選択画面が表示されます。

❹ ☎をタッチします。

画面上の入力行に「☎」が入力されます。

- 他の記号も入力したいときは、記号をタッチすると、入力行に追加されます。
- 入力行の記号を消したいときは【BS】をタッチします。

❺【入力】をタッチします。

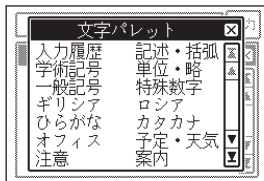
入力行の内容が手順❶の画面に入ります。

■ 文字パレットの履歴を使って文字（記号や絵文字など）を入力する

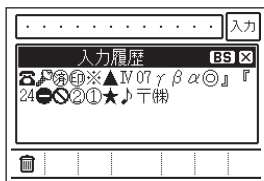
文字パレットから入力した文字（記号や絵文字など）は履歴として自動的に保存されます。

保存された履歴から文字を入力することができます。

❶【文字パレット】をタッチします。

グループの選択画面が表示されます。

❷ グループの先頭の【入力履歴】をタッチします。

入力履歴の一覧が表示されます。

- 履歴は直近のものから順番に表示されます。
- 🗑をタッチすると履歴を一括削除できます。

❸ 履歴の中から入力したい文字をタッチします。

画面上の入力行に選んだ文字が入力されます。

- 他の文字も入力したいときは、文字をタッチすると、入力行に追加されます。
- 入力行の文字を消したいときは【BS】をタッチします。

❹ 【入力】をタッチします。

現在の日付や時刻を入力する（タイムスタンプ）

現在の日付や時刻を入力することができます。

入力できる日付や時刻の表示形式は、以下の１４種類から選べます。

（現在の日時が「2014 年 10 月 26 日 13 時 30 分」の場合）

13 時 30 分
13：30
10 月 26 日
10/26
10 月 26 日（日）
10/26（日）
2014 年 10 月 26 日
2014/10/26
2014-10-26
平成 26 年 10 月 26 日
H26.10.26
2014 年 10 月
2014/10
平成 26 年 10 月

❶ メインメニュー画面で【文字ラベル】をタッチします。

文字ラベルの入力画面が表示されます。

❷ 【タイムスタンプ】をタッチします。

日付や時刻の入力形式を選ぶ画面が表示されます。

❸ 入力したい日付や時刻の形式をタッチします。

現在の日付や時刻が入力されます。

漢字辞書を使って文字を入力する（漢字辞書機能）

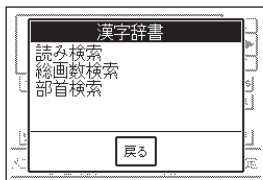
漢字の読みや、画数などから漢字を呼び出すことができます。

漢字の呼び出しかたには、３種類あります。

- 「読み検索」　読みから該当する漢字を呼び出します。
- 「総画数検索」　総画数から該当する漢字を呼び出します。
- 「部首検索」　部首から該当する漢字を呼び出します。

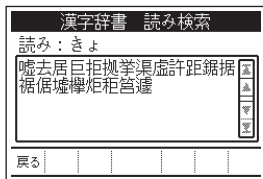
  - 漢字辞書機能は文字ラベルで有効です。ただし、文字が未確定のときや、変換中、記号などの選択画面などでは漢字辞書は使えません。

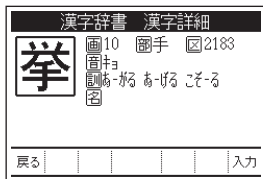
■ 読みから呼び出す

［例］「挙」という漢字を呼び出す

❶【漢字辞書】をタッチします。

❷【読み検索】をタッチします。

❸「挙」の音読みである「きょ」を入力し、【決定】をタッチします。

「きょ」と読む漢字の一覧が表示されます。

❹【挙】をタッチします。

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

❺【入力】をタッチします。

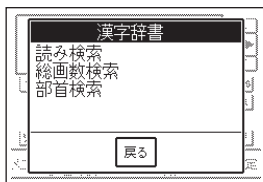
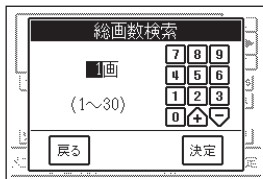
「挙」が入力されます。

■ 総画数から呼び出す

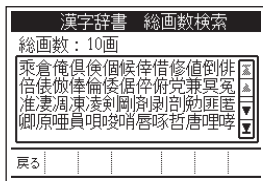
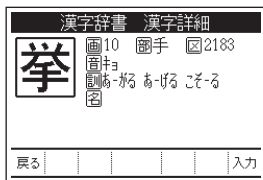
［例］「挙」という漢字を呼び出す

❶【漢字辞書】をタッチします。

❷【総画数検索】をタッチします。

文字ラベル編

❸ 数字（または⊕⊖）をタッチして総画数を入力し、【決定】をタッチします。

ここでは「挙」の総画数である「10」と入力し、【決定】をタッチします。10 画の漢字の一覧が表示されます。

- 1～30 画まで入力できます。

❹【挙】をタッチします。

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

❺ 【入力】をタッチします。

「挙」が入力されます。

■ 部首から呼び出す

[例] 「挙」という漢字を呼び出す

❶【漢字辞書】をタッチします。

❷ 【部首検索】をタッチします。

❸ 数字（または⊕⊖）をタッチして部首の画数を入力し、【決定】をタッチします。

ここでは「挙」の部首「手」の画数である「4」と入力し、【決定】をタッチします。

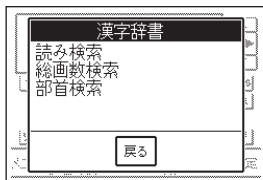
4画の部首の一覧が表示されます。

• 1～16画まで入力できます。

❹ 【手】をタッチします。

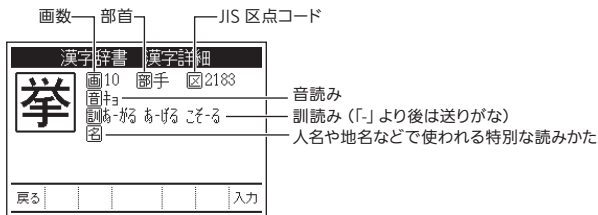
選んだ部首を持つ漢字の一覧が表示されます。

❺ 【挙】をタッチします。

「挙」という漢字についての詳細が表示されます。

❻ 【入力】をタッチします。

「挙」が入力されます。

漢字辞書詳細表示について

漢字辞書の詳細表示の内容は、次のとおりです。

- 読みでの呼び出しは「音読み」、「訓読み」、「人名や地名などで使われる特別な読みかた」のいずれでも呼び出しできます。
- フォントのデザインにより同じ漢字でも字の形が異なることがあります。
- 部首は代表的なものを採用しています。学説によっては別の部首とするものもあります。
- 漢字辞書機能で呼び出した場合は、漢字の学習機能（54 ページ）は、はたらきません。
- 単位の名称を漢字で表すもの（米：メートル、弗：ドルなど）は訓読みに含め、ひらがなで表示しています。

文字を修正・削除するときは

文字を間違えて入力したときの直しかたと、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

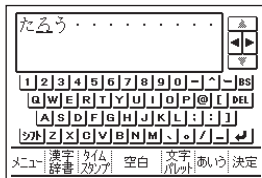
■ 文字を1文字ずつ消す

- カーソルの上の文字を消す

[例] 「たつろう」の「つ」を消して「たろう」に直す

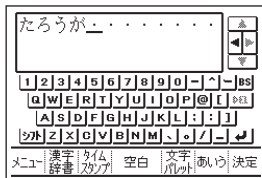
❶【つ】をタッチして、「つ」にカーソルを合わせます。

❷ DEL をタッチします。

「たろう」になります。

- カーソルの前の文字を消す

[例] 「たろうが」の「が」を消して、「たろう」に直す

❶ 消したい文字の次の文字部分をタッチして、カーソルを合わせます。

文字ラベル編

❷ BS をタッチします。

「たろう」になります。

■ すべての文字を消す（文削除）

入力中の文章をすべて消します。

❶ シフト CLS とタッチします。

削除の確認メッセージが表示されます。

❷ 【削除】をタッチします。

画面にあった文字はすべて消えます。

■ 間違った文字を直す

[例] 「たらう」を「たろう」に直す

❶ 【ら】をタッチして、「ら」にカーソルを合わせます。

❷ DEL をタッチします。

「ら」が削除され、「う」が「ら」の位置に移動します。

3 【ろ】をタッチして入力し、【無変換】をタッチします（確定します）。

確定前に文字を直したり消したりするには…

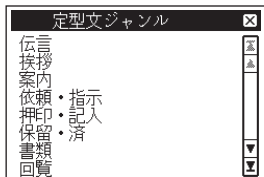
たらう など、文字に ■ が重なっているとき（確定前）に文字を消したり直したりするときも確定後の文字と同じ操作を行います。
ただし、【戻る】をタッチすると、■ が重なっている文字が全部消えます。

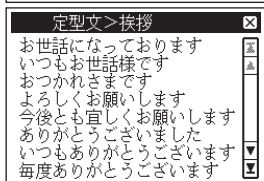
定型文を使う

本機に内蔵された、よく使う単語や文章を使うことができます（定型文）。
定型文は 14 のグループに分かれています。105 ページの「記号・絵文字／定型文／内蔵漢字について」を参照し、必要に応じて、使いたい定型文がどのグループに入っているのかを確かめてください。

[例]　よろしくお願いします　　（グループ＝挨拶）

❶ メインメニュー画面で【定型文】をタッチします。

定型文のジャンル選択画面が表示されます。

❷【挨拶】をタッチします。

「挨拶」のグループの定型文一覧が表示されます。

❸【よろしくお願いします】をタッチします。

画面に印刷結果のイメージが表示されます。

❹ このまま印刷する場合は、「印刷結果を画面で確認する」（45ページ）の手順❷以降の操作をしてください。

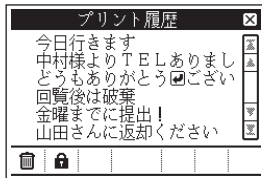
- 定型文を編集したいときは、【編集】をタッチすると文字ラベルの編集画面になります。

過去に印刷した内容を再印刷する

文字ラベルでは、印刷した内容を 20 件まで自動的に保存します。
その内容を呼び出して、再度、印刷することができます。

❶ メインメニュー画面で【プリント履歴】をタッチします。

過去に印刷した内容の一覧が表示されます。

- 直近に印刷した順番に 20 件まで表示されます。
- 印刷しないでメインメニュー画面に戻ったときは、内容は保存されません。

❷ 再印刷したい内容をタッチします。

画面に印刷結果のイメージが表示されます。

❸ このまま印刷する場合は、「印刷結果を画面で確認する」（45ページ）の手順❷以降の操作をしてください。

- 内容を編集したいときは、【編集】をタッチすると文字ラベルの編集画面になります。

■ 過去に印刷した内容を保護する（保護設定）

過去に印刷した内容は、20 件を超えるものは古いものから順番に消去されます。

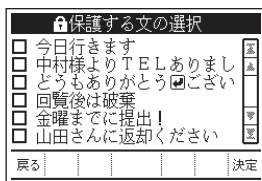
消去しないで残しておきたい内容があるときは、以下の操作で内容を「保護」してください。

❶ メインメニュー画面で【プリント履歴】をタッチします。

過去に印刷した内容の一覧が表示されます。

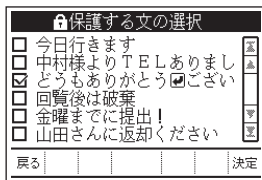
❷【🔒】をタッチします。

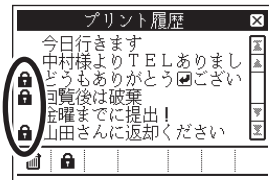
保護する内容の選択画面になります。

🔒保護する文の選択
□ 今日行きます
□ 中村様よりＴＥＬありまし
□ どうもありがとう↵ござい
□ 回覧後は破棄
□ 金曜までに提出！
□ 山田さんに返却ください
戻る　決定

❸ 保護したい内容をタッチします。

保護の設定がされて、□→☑になります。

- タッチするごとに□と☑が切り替わります。

🔒保護する文の選択
□ 今日行きます
□ 中村様よりＴＥＬありまし
☑ どうもありがとう↵ござい
□ 回覧後は破棄
□ 金曜までに提出！
□ 山田さんに返却ください
戻る　決定

❹ 手順❸を繰り返して、保護したい内容をすべて設定したら【決定】をタッチします。

過去に印刷した内容の一覧に戻って、保護した内容の先頭に🔒が表示されます。

■ 過去に印刷した内容を一括削除する

過去に印刷した内容をまとめて削除することができます。

❶ メインメニュー画面で【プリント履歴】をタッチします。

過去に印刷した内容の一覧が表示されます。

❷ 🗑をタッチします。

削除の確認メッセージが表示されます。

❸【削除】をタッチします。

過去に印刷した内容が一括削除されます。

- 「保護設定」（73 ページ）した内容は削除されません。

お役立ち機能

カレンダーを使う

1ヵ月分のカレンダーを表示することができます。また、休日の設定やアラームの確認もできます。

表示できる年月の範囲は、2011 年 1 月～ 2040 年 12 月までです。

■ カレンダーを表示する

❶ メインメニュー画面で【カレンダー】をタッチします。

1ヵ月分のカレンダーが表示されます。また、今日の日付が点滅します。

- 【◀◀】【▶▶】をタッチすると、前後の月のカレンダーを表示することができます。
- アラームが設定されている日は、日付の左に■が表示されます。
- 画面下の時計をタッチすると、時計画面に切り替わります。

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	■23	24	25	26	27	28
29	30	31				

◀◀ 2012. 7 ▶▶

10:08 ▲

❷ 画面右下の▲をタッチすると、操作アイコンが表示されます。

▼：カレンダー表示に戻る
【メニュー】：メインメニュー画面を表示
【休日】：休日の設定（76 ページ）
【アラーム表示】直近のアラームを表示
【今日】：今日の日付のカレンダーを表示

◀◀ 2012. 7 ▶▶

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	■23	24	25	26	27	28
29	30	31				

▼

メニュー 休日 アラーム表示 今日

■ 休日を設定する

❶ カレンダー表示中に、画面右下の [▲] をタッチします。

❷【休日】をタッチします。

休日の設定状態となり、画面下に「(休日指定中)」と表示されます。

2012. 7						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	▪23	24	25	26	27	28
29	30	31				
戻る	(休日指定中)					決定

❸ 曜日をタッチすると、その列の日付が反転(休日表示)となります。

日付をタッチすると、タッチした日付が反転します。
反転を解除したいときは、再度、曜日または日付をタッチします。

❹ 休日設定が終了したら【決定】をタッチします。

カレンダー表示に戻ります。

■ アラームを確認する

❶ カレンダー表示中に、画面右下の [▲] をタッチします。

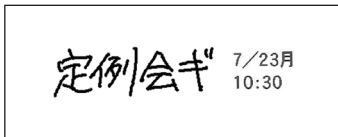
❷【アラーム表示】をタッチします。

直近のアラームが表示されます。

- カレンダー表示中に、日付の左に■が表示されている日をタッチすると、その日に設定されているアラームを表示することができます。

❸ アラーム表示画面では以下の操作ができます。

【削除】:　表示中の手書きメモの削除
【新規】:　新しいアラームの設定
【◀◀】【▶▶】:　前後のアラームを表示
【カレンダ】:　カレンダー表示に戻る
【メモ修正】:　表示中の手書きメモの修正
【フィード】:　テープを空送りする（38 ページ）
【プリント】:　アラーム表示内容をラベルに印刷する
以下のように印刷されます

[印刷例] （18mm テープの場合）

印刷の操作は、36 ページ「印刷する」～ 38 ページ「印刷時の注意事項」をご覧ください。

■ 年月を指定して表示する（年月指定ジャンプ）

年月を指定して、カレンダーを表示することができます。

❶ カレンダー表示中に、画面上の年月表示部分をタッチします。

年月指定ジャンプの設定画面が表示されます。

❷ 数字アイコンをタッチして、年月を設定します。

設定したい項目をタッチして、反転を移動させて設定していきます。

- 数字は⊕⊖でも設定できます。⊕をタッチすると数字が増え、⊖をタッチすると数字が減ります。

❸ 設定が終了したら【ジャンプ】をタッチします。

指定した年月のカレンダーが表示されます。

■ カレンダーの先頭曜日を切り替える

カレンダーの先頭に表示する曜日を「日曜」→「月曜」に切り替えることができます。

❶ メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

❷ 【カレンダー先頭曜日】をタッチします。

❸ 【月曜先頭表示】をタッチして、【決定】をタッチします。

- 日曜先頭表示に戻したいときは、【日曜先頭表示】をタッチします。

時計を使う

時計と日付を表示することができます。また、現在の日時をラベルに印刷することもできます。

■ 時計を表示する

❶ メインメニュー画面で【時計】をタッチします。

時計と日付が表示されます。

- 日付の「月日」部分をタッチすると、カレンダー表示に切り替わります。
- 時計の「時」部分をタッチするごとに、12/24 時間制の表示が切り替わります。

A11:07
2012. 7.20 Fri

❷ 画面右下の ▲ をタッチすると、操作アイコンが表示されます。

▼：時計表示に戻る
【メニュー】：メインメニュー画面を表示
【フィード】：テープを空送りする（38 ページ）
【プリント】：現在の日時をラベルに印刷する
以下のように印刷されます

A11:07
メニュー フィード プリント

[印刷例]
（18mm テープの場合）

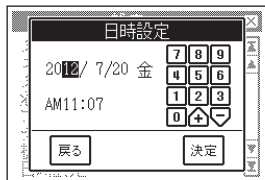
7／20金
AM11:07

印刷の操作は、36 ページ「印刷する」～ 38 ページ「印刷時の注意事項」をご覧ください。

■ 日付、時刻を設定する

1 メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

2 【日時設定】をタッチします。

日時の設定画面が表示されます。

3 数字アイコンをタッチして、日付や時刻を設定します。

設定したい項目をタッチして、反転を移動させて設定していきます。

- 数字は⊕⊖でも設定できます。⊖をタッチすると数字が減り、⊕をタッチすると数字が増えます。
- 12 時間制表示のときは、「AM（PM）」をタッチするごとに、AM/PM が切り替わります。

4 設定が終了したら【決定】をタッチします。

■ 時計のフォント（書体）を選ぶ

時計のフォントを2種類の中から選ぶことができます。

1 メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

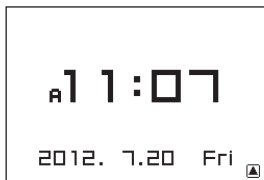
2 【時計フォント】をタッチします。

3 【スタンダード】または【スクエア】をタッチします。

4 【決定】をタッチします。

メインメニュー画面に戻ります。

❺【時計】をタッチすると、手順❸で選んだフォントで時計が表示されます。

- カレンダーの画面下に表示される時計フォントも切り替わります。
- 印刷のフォントは切り替わりません。

■ 時計の 12 時間 /24 時間制を切り替える

❶ メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

❷ 【12/24時間制】をタッチします。

❸ 【24時間制表示】をタッチして、【決定】をタッチします。

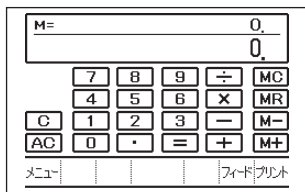
- 12 時間制に戻したいときは、【12 時間制表示】をタッチします。

電卓を使う

足し算や割り算などの四則演算のほか、定数計算やメモリー計算ができます。また、計算結果をラベルに印刷することもできます。

■ 電卓を表示する

❶ メインメニュー画面で【電卓】をタッチします。

電卓が表示されます。

❷ 計算を始めるときは、AC をタッチします。

■ 計算のしかた

通常の電卓と同じように操作してください。

四則演算の例

例　題	操　作	表　示
53+123 − 63=113	AC 53 + 123 − 63 =	0. 53.+ 176. − 113.
963 × (23 − 56)= − 31779	23 − 56 × 963 =	− 33. × − 31'779.

定数計算の例

定数を入力したら、[＋][－][×][÷]のいずれかを 2 回タッチします。

例　題	操　作	表　示
12+23=35 45+23=68	23 [＋][＋] 12 [＝] 45 [＝]	K　35.+ K　68.+
2.3 × 12=27.6 4.5 × 12=54	12 [×][×] 2.3 [＝] 4.5 [＝]	K　27.6 × K　54. ×
17+17+17+17=68	17 [＋][＋][＝][＝][＝]	K　68.+

間違いの訂正

数字を間違えたときは[C]を押し、正しい数字を入力します。
演算記号（[＋][－][×][÷]）を間違えたときは、続けて正しい記号をタッチし、そのまま計算を続けます。

クリアー（ゴハサン）するには

[AC]をタッチします。
メモリー計算用の独立メモリー内の数値以外はすべてクリアーされます。

メモリーを使った計算の例

メモリー計算では、以下の操作アイコンをタッチします。

- [M+]：独立メモリーに数値を加える
- [M−]：独立メモリーから数値を引く
- [MR]：独立メモリーに記憶されている数値を表示する
- [MC]：独立メモリーをクリアーする

例　題	操　作	表　示
80 × 9=　720 －)50 × 6= 300 20 × 3=　60 合計　480	[MC] 80 [×] 9 [M+] 50 [×] 6 [M−] 20 [×] 3 [M+] [MR]	M=720.　720. M=420.　300. M=480.　60. M=480.　480.
193.2 ÷ 23　=　8.4 193.2 ÷ 28　=　6.9 123 － 193.2 = － 70.2	[MC] 193.2 [M+][÷] 23 [＝] [MR][÷] 28 [＝] 123 [－][MR][＝]	M=193.2　8.4 M=193.2　6.9 M=193.2 － 70.2

こんなときはエラーになります

以下の状態のときは "E" が表示され、計算できなくなります。

- 計算途中の数値または答えの整数部が 12 桁を超えたとき
- 独立メモリー内の数値の整数部が 12 桁を超えたとき
  このとき "0." が表示されます。ただし、独立メモリー内には桁オーバーする前の数値が保護されています。
- 0 で割る割り算を実行しようとしたとき

エラーになったら、計算を続けるときは C を、最初からやり直すときは AC をタッチします。

■ 計算結果を印刷する

- 【プリント】をタッチすると、計算結果（現在表示中の数値）をラベルに印刷することができます。以下のように印刷されます。

[印刷例] （18mm テープの場合）

10290

印刷の操作は、36 ページ「印刷する」～ 38 ページ「印刷時の注意事項」をご覧ください。

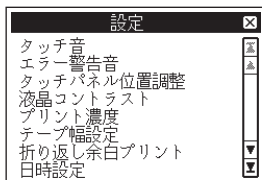
設定編

設定を変える

タッチ音を消したり、画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

メインメニュー画面で【設定】をタッチすると、右の画面が表示されます。

設定したい項目をタッチして画面を切り替え、設定を変更します。

設定項目	内容	ページ
タッチ音	タッチ音を鳴らす／鳴らさないを決める	86
エラー警告音	印刷の際のエラー警告音を鳴らす／鳴らさないを決める	86
タッチパネル位置調整	タッチパネルの位置を調整する	87
液晶コントラスト	画面の明るさを調整する	87
プリント濃度	印刷の濃さを調整する	88
テープ幅設定	テープ幅を設定する	88
折り返し余白プリント	印刷時の折り返し余白を設定する	89
日時設定	日時を設定する	80
時計フォント	時計画面の表示フォントを選ぶ	80
１２／２４時間制	時計の表示方法（12/24 時間制）を選ぶ	81
カレンダー先頭曜日	カレンダーの表示方法（先頭曜日）を選ぶ	78

設定項目	内容	ページ
電池設定	アルカリ乾電池か充電式ニッケル水素電池（eneloop®、充電式EVOLTA）のどちらを使うか決める	90
オールリセット	メモや設定をすべて消して購入時の状態に戻す	91

タッチ音を消したい

タッチパネルにタッチしたときに鳴る「ピッ」というブザー音を消すことができます。

1 メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

2 【タッチ音】をタッチします。

3 【なし】をタッチして、【決定】をタッチします。

- タッチ音を鳴らしたいときは、【あり（推奨）】をタッチします。

エラー警告音を消したい

印刷の際のエラーのときに鳴る「ピーッ」というブザー音を消すことができます。

1 メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

2 【エラー警告音】をタッチします。

3 【なし】をタッチして、【決定】をタッチします。

- エラー警告音を鳴らしたいときは、【あり（推奨）】をタッチします。

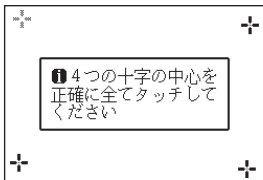
タッチパネルの位置を調整したい

タッチパネル上で、タッチペンでタッチする位置と表示される手書きで書いた線や文字が微妙にずれているときなど、調整が必要な場合に位置を調整することができます。

1 メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

2 【タッチパネル位置調整】をタッチします。

3 タッチパネルに表示される4つの十字マークの中心を、一つ一つタッチペンですべてタッチします。

- 十字マークをタッチすると色が薄くなり、4 つすべてタッチすると調整が終わります。

タッチパネルのコントラストを変えたい

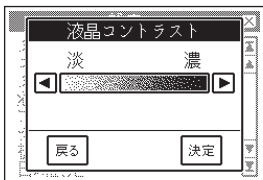
タッチパネルのコントラスト（明るさ）を調整することができます。

1 メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

2 【液晶コントラスト】をタッチします。

3 ◀ ▶ をタッチして、タッチパネルの明るさを調整し、【決定】をタッチします。

- ◀ をタッチするごとに淡く、▶ をタッチするごとに濃くなります。

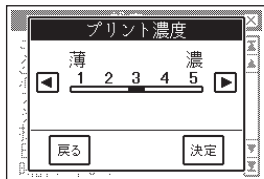
設定編

印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

❶ メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

❷ 【プリント濃度】をタッチします。

❸ ◀ ▶ をタッチして濃さを設定し、【決定】をタッチします。

「1」にすると1番薄く印刷され、「5」にすると1番濃く印刷されます。

- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

テープ幅を設定する

テープ幅の設定を変更することができます。

- テープ幅の異なるテープに交換した場合は、必ずテープ幅の設定を変更してください。

❶ メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

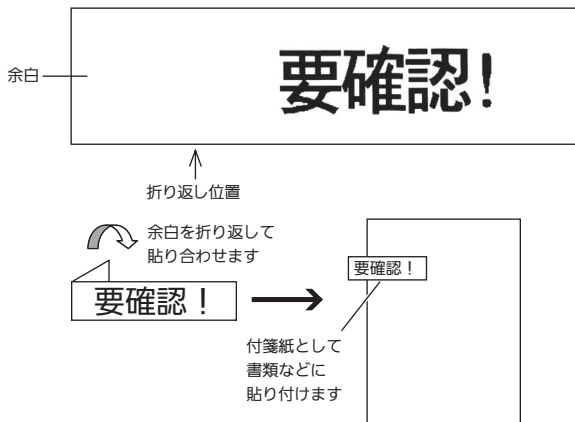
❷ 【テープ幅設定】をタッチします。

❸ 【18mm幅】【12mm幅】【9mm幅】のうち、変更したいテープ幅をタッチして、【決定】をタッチします。

印刷時の折り返し余白を設定する

印刷時に、ラベルの前または後ろに折り返し用の余白を追加することができます。

折り返し用の余白を追加すると、以下のようなラベルが印刷できます。余白を折り返して貼り合せると、付箋紙として書類などに貼り付けることができます。

[印刷例]（18mm テープの場合）

❶ メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

❷ 【折り返し余白プリント】をタッチします。

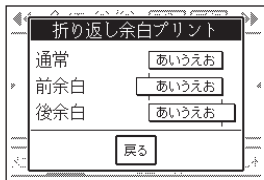
折り返し余白プリントの設定画面が表示されます。

❸ 【する（印刷毎に選択）】をタッチして、【決定】をタッチします。

- 折り返し余白プリントをしない場合は、【しない】をタッチします。

設定編

■ 折り返し余白プリントを「する（印刷毎に選択）」に設定したときの印刷操作

❶ 手書きメモや文字ラベルで【プリント】をタッチすると、折り返し余白プリントの選択画面が表示されます。

❷ 【通常】【前余白】【後余白】のいずれかをタッチします。

- 【通常】: 前後に約 10mm 余白
- 【前余白】: 前に約 20mm、後ろに約 10mm 余白
- 【後余白】: 前に約 10mm、後ろに約 20mm 余白

ここでは【前余白】をタッチします。
印刷が始まります。

電池の設定をする

アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（eneloop®、充電式 EVOLTA）のどちらを使うかを設定します。

ご購入後はじめて使うときや、オールリセット（91 ページ）をした後は、アルカリ乾電池を使う設定になっています。

- ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

❶ メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

❷ 【電池設定】をタッチします。

❸ 【充電式ニッケル水素】をタッチして、【決定】をタッチします。

- 【アルカリ】をタッチして【決定】をタッチすると、アルカリ乾電池を使う設定に戻ります。

メモリーの初期化をする（オールリセット）

メモや設定をすべて消して購入時の状態に戻すことができます。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要なとき以外はメモリーの初期化をしないでください。

1 メインメニュー画面で【設定】をタッチします。

2 【オールリセット】をタッチします。

3 【消去】をタッチすると、メモリーが初期化されます。

メモリーの初期化が完了すると、日時設定の画面が表示されます。

4 日時を設定します（80ページ）。

重要 メモリーの初期化をした後は、必ず電池の設定を確認してください（90 ページ）。

設定編

メモリーとは

本機内部にあり、作成したメモなどを記憶する場所です。

「メモリーの初期化」とは

本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、作成したメモなどはすべて消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

付　録

電源について（電池で使う）

本機を使うときは、電源として指定の AC アダプターの他に、市販のアルカリ乾電池や充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式 EVOLTA）を使うことができます。

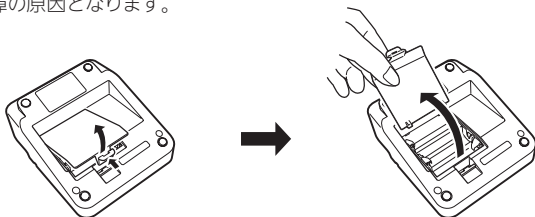
- アルカリ乾電池、充電式ニッケル水素電池および充電器は、本機に同梱しておりません。アルカリ乾電池、充電式ニッケル水素電池および充電器は電器店、量販店などでお買い求めください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」（2 ～ 12 ページ）を必ずご覧ください。

市販の単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式 EVOLTA）を 4 本使用します。

（必ず 4 本とも同じ種類の電池を使用してください。）

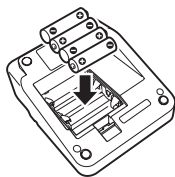
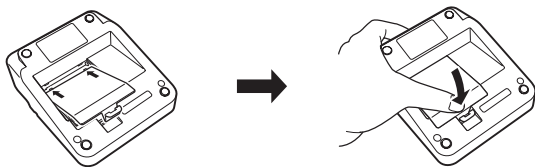
- 電池は、必ず 4 本とも新品の単 3 形アルカリ乾電池、または満充電にした単 3 形充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式 EVOLTA）を使用してください。指定以外の電池を本機に使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、電池の特性と本機の仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさなかったり、誤動作の原因となることがあります。
- 単 3 形充電式ニッケル水素電池（eneloop®、または充電式 EVOLTA）を使用する場合は、電池の設定を「充電式ニッケル水素」にしてください（90 ページ）。
- ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

❶ 本体裏側の電池カバーを取りはずします。

電池カバーに無理な力（逆に曲げるなど）を加えないでください。故障の原因となります。

❷ 電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。

❸ 電池カバーを取り付けます。

付録

- 画面に「電池が消耗しています」と表示されたときは、早めに電池を交換してください。
- 本機をご使用にならない場合も、1 年に 1 度は必ず電池を交換してください。
- 特に消耗した eneloop®または充電式 EVOLTA を本機に入れたままにすると、eneloop®または充電式 EVOLTA を劣化させるおそれがあるので、本機をご使用にならない場合はすぐに取り出してください。
- 電池が消耗した状態で使用すると、印刷中に電源が切れることがあります。指定の AC アダプターでお使いになることをおすすめします。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池が消耗しています」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲（10℃～ 35℃）の環境に戻してからご使用ください。
- AC アダプターや電池を取りはずすときは、本機の画面が消えていることを確認してください。画面が表示中の場合は、オートパワーオフ（26 ページ）を待つか、お急ぎの場合はメインメニュー画面（32 ページ）を表示させた状態で取りはずしてください。
- 本機に登録した重要なデータは、ノートなどに控えを取っておいてください。

電池寿命について

標準印刷条件で、18mm テープ約 2 巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字や画像を印刷した場合、低温下で使用した場合、電池をセットしたまま長期間保管した場合は、電池寿命は短くなります。

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーが汚れていると、ラベルをきれいに印刷できません。また、テープカッターが汚れているときれいにカットできません。次の手順に従って、プリンターヘッド、ゴムローラー、テープカッターを掃除してください。

重要 プリンターヘッド、ゴムローラー、テープカッターのお手入れは、綿棒などの柔らかいものをお使いください。また、綿棒は極細タイプをおすすめします。

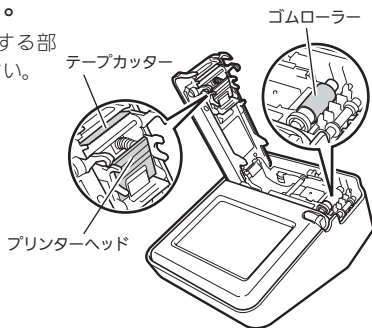
❶ 27ページ手順❶の操作で、テープ収納部のカバーを開けます。

- テープが装着されているときは、テープを取り出します。

重要 印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープを取りはずしてください。

❷ アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラー、テープカッターの表面を拭きます。このとき、テープカッターには直接触らないように注意してください。指を切るおそれがあります。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的に拭いてください。

付録

- ゴムローラーは、【フィード】（35、38 ページ）をタッチすると回転します。
- 市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

本体もお手入れしましょう

柔らかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。本体を傷付けるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは（トラブルシューティング）

本機がうまく動かないときには、次の対処方法にしたがってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、「メモリーの初期化」（91 ページ）をしてください（メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要なデータはノートなどに控えをとってください）。それでも解決できない場合は、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、もよりの本機取扱店、もしくは「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

症状	原因と対処
● タッチパネルをタッチしても何も表示されない	• 画面の明るさが適切でない ➜ 画面の明るさの設定を調整してください。（87 ページ）
	• AC アダプターがきちんと接続されていない ➜ AC アダプターを正しく接続してください。（23 ページ）
	• 電池が消耗している、または指定以外の電池を使用している • 指定以外の AC アダプターを使用している ➜ 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。
	• 電池が正しくセットされていない ➜ 正しくセットし直してください。（93 ページ）
● 正しく終了するが何も印刷されない	•「空白」だけが入力されている ➜ 印刷したい文章を入力してください。
	• パソコンから何も入っていないデータを取り込んで印刷しようとした ➜ 正しいデータを取り込み直してください。

症状	原因と対処
● 印刷が不鮮明になった ● 印刷がきれいにできない ● 印刷が薄い	• プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している ➜ クリーニングをしてください。（95 ページ）
	• テープが正しくセットされていない ➜ 正しくセットし直してください。
	• 電池が消耗している ➜ 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。
	• 印刷濃度が適切でない ➜ 印刷濃度を調節してください。（88 ページ）
● 印刷されない ● 印刷中に電源が切れる	• 電池が消耗している、または、指定以外の AC アダプターや電池を使用している ➜ 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。
	• プリンターヘッドが高温になっている ➜ しばらく時間をおいてからお使いください。
● 目的の漢字に正しく変換されない	• 正しい「読み」が入力されていない ➜ 正しい「読み」を入力してください。特に、拗音（「しょう」の「ょ」など）や促音（「がっき」の「っ」など）の入力には注意してください。
	• 入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている ➜【あいう】をタッチして変更してください。（50 ページ）

症状	原因と対処
● パソコンとつながらない	• USB ケーブルが正しく接続されていない ➜ 正しく接続し直してください。
	• 電源を入れていない ➜ タッチパネルをタッチして、電源を入れてください。
	• プリンタードライバーがパソコンにインストールされていない ➜ パソコンにプリンタードライバーをインストールしてください。（別紙の「インストールガイド」参照） それでもつながらない場合には、パソコンの USB ポートを別のポートに差し替えてください。 ※ USB ケーブルは、付属のものを使用してください。 • パソコンとの接続モードになっていない ➜ メインメニュー画面で【USB リンク】をタッチしてパソコンと接続できる状態にしてください。
●【プリント】をタッチしてもテープが出てこない	• テープ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない ➜ カバーをしっかり閉めてください。 （29 ページ）
	• テープが終了している ➜ 新しいテープ（別売）に交換してください。（27、107 ページ）
	• テープが詰まっている ➜ テープを取り出して、詰まったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。 そのあと、正しくセットし直します。 （27 ページ） 重要 印刷中に、次のようなことはしないでください。 • テープ出口をふさぐ • 出てくるテープに触る • テープ収納部のカバーを開ける • AC アダプターや電池を取りはずす
	• 電池が消耗している ➜ 指定の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。

付録

症状	原因と対処
●テープが切れない	• テープのカット方法が正しくない ➜ テープをカットする（36 ページ）
	• テープカッターが汚れている ➜ お手入れの方法（95 ページ）
	• テープカッターが摩耗している ➜「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡して交換してください。（112 ページ）
	• テープ出口にテープが詰まっている ➜ テープを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。
●ラベルが貼れない	• 貼る場所やものが適していない ➜ 表面がザラザラしているもの、水や油が付いているもの、汚れているものなどには貼れません。（37 ページ）
●ラベルの余白が大きい	（本機の構造上、印刷時にはラベルの先頭に必ず余白が入ります）
● タッチパネルにタッチする位置と表示される線や文字の位置がずれている	• タッチする位置と認識される位置がずれている ➜ タッチパネル位置調整を行ってください。（87 ページ）

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
同じ日時に重複してセットできません	• 同一の日時にすでにアラームがセットされている場合 ➜ 日時を変更してセットしてください。	40
該当候補なし	• 漢字辞書で候補の漢字がない場合 ➜【確認】をタッチして違う読みを入力してください。	54
	• 漢字辞書の読み検索で、先頭に長音を入力した場合 ➜ 正しい文字を入力し直してください。	64
	• 単漢字変換で候補の漢字がない場合 ➜【確認】をタッチして違う読みを入力してください。	56

メッセージ	原因と対処	参照ページ
過去の日時にはセットできません	• 過去の日時にアラームをセットしようとした場合 ➜ 日時を変更してセットしてください。	40
行数オーバー	• 印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➜ 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	46
前回正しく終了されなかった可能性があります	• 前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、ＡＣアダプターや電池を取りはずすなどして正常に終了できなかった場合 ➜ 登録内容の一部が消去されています。【確認】をタッチすると、その部分が初期化されます。	24
テープが詰まっています	• 印刷中に、テープが詰まった場合 ➜ テープを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。	31
	• ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 ➜ ゴムローラーに付着した異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。 • テープ収納部にあるセンサーに「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 ➜ テープ収納部から「テープの切れかす」などの異物を取り除いてください。	95
	上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。	112
電池が消耗しています	• 電池が消耗している場合 ➜ 新しい電池（別売）に交換してください、または指定の AC アダプターを使用してください。 • 10℃以下の低温下で使用した場合 ➜ 使用温度範囲（10℃～ 35℃）でご使用ください。	23 92
長さオーバー	• 印刷できるテープの長さ（約 30cm）を超えて印刷しようとした場合 ➜ テープの長さが短くなるように変更してください。	45

付録

メッセージ	原因と対処	参照ページ
パソコンとの接続状況を確認してください	• USB ケーブルのコネクターがしっかりと接続されていない場合 ➜ USB ケーブル（付属のもの）をコネクターにしっかりと差し込んでください。 • パソコンの電源が切れている場合 ➜ パソコンの電源を入れてから操作してください。	インストールガイド
プリンターエラーが発生しました	お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。	112
プリンターのカバーが開いています	• プリンターカバーがしっかりと閉まっていない場合 ➜ プリンターカバーをしっかりと閉めてください。	29
プリンターヘッドが温度異常です	• 繰り返して印刷したときなど、プリンター部分に熱がこもった場合 ➜ しばらく時間をおいてから印刷し直してください。	ー
	上記の対処をしてもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。	112
文字が入力されていません	• 文字を入れないで次の操作に進もうとした場合 ➜ 文字を入力してから次の操作をしてください。	48
文字数オーバー 入力できません	• 文字ラベルで最大文字数を超えて入力しようとした場合 ➜ 最大文字数を超えないように入力し直してください。	44

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、つづりかたの一覧表です。

あ行	あ A	い I	う U	え E	お O
か行	か KA CA	き KI	く KU CU QU	け KE	こ KO CO
が行	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
さ行	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
ざ行	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
た行	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
だ行	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
な行	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は行	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ば行	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ行	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
ま行	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や行	や YA		ゆ YU	いぇ YE	よ YO

ら行	ら RA LA	り RI LI	る RU LU	れ RE LE	ろ RO LO
わ行	わ WA	ゐ WI	う WU	ゑ WE	を WO
ん行	ん NN，N＋子音 MP＋母音、MB＋母音				

きゃ行	きゃ KYA	きぃ KYI	きゅ KYU	きぇ KYE	きょ KYO
ぎゃ行	ぎゃ GYA	ぎぃ GYI	ぎゅ GYU	ぎぇ GYE	ぎょ GYO
くぁ行	くぁ QA	くぃ QI		くぇ QE	くぉ QO
くゎ行	くゎ KWA QWA	くぃ KWI	くぅ KWU	くぇ KWE	くぉ KWO
ぐゎ行	ぐゎ GWA	ぐぃ GWI	ぐぅ GWU	ぐぇ GWE	ぐぉ GWO
しゃ行	しゃ SYA SHA		しゅ SYU SHU	しぇ SYE SHE	しょ SYO SHO
じゃ行	じゃ ZYA JA JYA	じぃ ZYI JYI	じゅ ZYU JU JYU	じぇ ZYE JE JYE	じょ ZYO JO JYO
ちゃ行	ちゃ TYA CYA CHA	ちぃ TYI CYI	ちゅ TYU CYU CHU	ちぇ TYE CYE CHE	ちょ TYO CYO CHO
ぢゃ行	ぢゃ DYA	ぢぃ DYI	ぢゅ DYU	ぢぇ DYE	ぢょ DYO

つぁ行	つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
てゃ行	てゃ THA	てぃ THI	てゅ THU	てぇ THE	てょ THO
でゃ行	でゃ DHA	でぃ DHI	でゅ DHU	でぇ DHE	でょ DHO
とぅ			とぅ TWU		
どぅ			どぅ DWU		
にゃ行	にゃ NYA	にぃ NYI	にゅ NYU	にぇ NYE	にょ NYO
ひゃ行	ひゃ HYA	ひぃ HYI	ひゅ HYU	ひぇ HYE	ひょ HYO
びゃ行	びゃ BYA	びぃ BYI	びゅ BYU	びぇ BYE	びょ BYO
ぴゃ行	ぴゃ PYA	ぴぃ PYI	ぴゅ PYU	ぴぇ PYE	ぴょ PYO

ふぁ行	ふぁ FA	ふぃ FI		ふぇ FE	ふぉ FO
ふゃ行	ふゃ FYA	ふぃ FYI	ふゅ FYU	ふぇ FYE	ふょ FYO
ぶゃ行	ぶゃ VYA	ぶぃ VYI	ぶゅ VYU	ぶぇ VYE	ぶょ VYO
みゃ行	みゃ MYA	みぃ MYI	みゅ MYU	みぇ MYE	みょ MYO
りゃ行	りゃ RYA LYA	りぃ RYI LYI	りゅ RYU LYU	りぇ RYE LYE	りょ RYO LYO
ぶぁ行 ヴァ行	ぶぁ ヴァ VA	ぶぃ ヴィ VI	ぶ ヴ VU	ぶぇ ヴェ VE	ぶぉ ヴォ VO

- カタカナを入力する場合は、入力モードを【アイウ】にしてから入力してください（50 ページ）。

小文字（拗音・促音）

あ	い	う	え	お
XA シフト A	XI シフト I	XU シフト U	XE シフト E	XO シフト O
や XYA Y シフト A	ゆ XYU Y シフト U	よ XYO Y シフト O	わ XWA W シフト A	

っ	カ	ケ
XTU、XTSU、LTU T シフト U、TS シフト U	XKA K シフト A	XKE K シフト E

- N 以外の子音を 2 度入力しても「っ」や「ッ」になります。

記号・絵文字／定型文／内蔵漢字について

本機に内蔵されている「記号・絵文字／定型文／内蔵漢字」の一覧は、付属の CD-ROM に PDF データ※として収録されています。一覧を見る操作は以下の通りです。

① Windows® を起動してから、付属の「MEMOPRI SOFTWARE」CD-ROM をパソコンの CD ドライブにセットします。

②自動的に Install Menu 画面が表示されたら、[終了] ボタンをクリックします。

- お使いのパソコンの動作環境によっては、手順②の画面が表示されない場合があります。その場合は、手順③に進んでください。
- Windows® 7/Windows Vista® の場合は、自動再生メニューが起動します。「プログラムのインストール / 実行」の「InstallMenu.exe の実行」を選択します。ユーザーアカウント制御のダイアログが表示されたら、[はい] または [続行] のボタンをクリックしてください。

③ CD-ROM の「MEP-T10_huroku」フォルダ内の「MEP-T10_huroku.pdf」をダブルクリックします。

※ PDF データを見るためには、お使いのパソコンに Adobe® Reader® または Acrobat® Reader® 4.0 以上がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、Adobe Systems Incorporated サポートサイト「http://get.adobe.com/jp/reader/」から指示に従ってインストールしてください。

・内蔵されている漢字の中には単漢字変換（56 ページ）を使わないと変換できないものもあります。

仕様

形式　: MEP-T10

入力

入力方法　: ローマ字入力、かな入力

変換方式　: 熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数　: 熟語変換　約 88,000 語
単漢字変換　約 13,000 語

文字種

5,601 文字

漢字:4,166 文字(JIS 第 1 水準:2,965 文字/ JIS 第 2 水準:1,201 文字)
ひらがな:83 文字/カタカナ:86 文字/数字:10 文字/
アルファベット:52 文字/ギリシア文字:48 文字/ロシア文字:66 文字/記号:386 文字/絵文字:704 文字

表示

液晶表示　: 240 × 160 ドット

入力部分　: 12 桁× 3 行(文字ラベルでの入力時)

印刷

印字密度　: 200dpi

印刷方式　: 感熱方式

印字速度　: 約 10mm/ 秒(AC アダプター使用時)
約 4.5mm/ 秒(電池使用時)
・印字速度は印字環境、条件等により異なります。

印字幅　: 最大約 12mm
a)7mm(テープ幅 9mm)　b)10mm(テープ幅 12mm)
c)12mm(テープ幅 18mm)

印字長　: 最大約 30cm

文字構成　: ビットマップフォント

書　体　: 角ゴシック体

印刷方向　: 横書き・縦書き

印刷文字体　: 標準・太字

印字行数　: 9/12mm 幅テープ使用時　1 ~ 2 行印刷可能
18mm 幅テープ使用時　1 ~ 3 行印刷可能

内部記憶

手書きメモ用の記憶　　　　　：99 件
文字ラベル印刷履歴用の記憶　：最大 20 件
（1 件あたり最大 99 文字）
熟語変換学習　　　　　　　　：約 125 語
単漢字変換学習　　　　　　　：20 語
文字パレット入力履歴用の記憶：最大 56 文字

電源・その他

動作用電源　　：AC アダプター（AD-A12200L）
家庭用 100V 電源使用
単 3 形アルカリ乾電池（4 本・市販品）
単 3 形 eneloop®（4 本・市販品）
単 3 形充電式 EVOLTA（4 本・市販品）
消費電力　　　：9W
オートパワーオフ：ＡＣアダプター使用時：約 6 分
電池使用時：約 30 秒
時計精度　　：日差± 3 秒（常温 15℃～ 35℃）
内蔵時計動作用電池寿命：約 8 年

・時計の年月日・時刻が正しく表示されない場合は、内蔵時計動作用電池の消耗が考えられます。この場合は、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」に修理をご依頼ください（有料交換）。

大きさ　　：幅 119mm ×奥行 146mm ×高さ 67mm
（ゴム足含む）
質量　　　：約 375g（ペン含む、電池含まず）
使用温度　：10℃～ 35℃

別売品一覧

別売品のテープの最新情報やメモプリンターの新製品情報については、以下の URL をご確認ください。
http://casio.jp/d-stationery/

●テープ

テープ幅 / テープ色	18mm	12mm	9mm
白色	XA-18WE	XA-12WE	XA-9WE
黄色	XA-18YW	XA-12YW	XA-9YW
ピンク	XA-18PK	XA-12PK	XA-9PK

※品切れの際はご容赦ください。
※別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

た行

な行

は行

付録

ま行

や行

ら行